

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひろがり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族に寄り添った支援体制	中津市でも一番長い預かり時間体制を作っており、保護者・本人の希望にも最大限の配慮と応援をしています。 この状況を作れているのは、従業員の皆様のおかげだと持っています。	保護者に寄り添うことを忘れずに、成長を促すためのペアトレや放課後等デイサービス卒業に向けた後方支援の充実化をしていく必要があります。
2	風通りのいい会社・事業所体制	管理者含め、支援者が話しやすい雰囲気作りに努め、前回会議を週に2回実施しています。	全体会議を効率よく行い、現場の意見を会社として解決していけるボトムアップの流れを構築していく必要があります。
3	研修制度等	福利厚生の一環としてもWEBでも研修を行っている。	現在、外部研修としてWEB研修を主としているが、現地開催の研修会などに参加する機会を増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広く利用者を受け入れていることにより、特性の幅広さに支援者がついていけない状況がある。	福祉経験者・教育経験者は、従業員の半数を占めているが、放課後等デイサービス経験者が一部の職員のみです。 経験者を積むこと、事例を知ることが必要だと考えています。	経験をそのままにせず、事例に対してふりかえりを都度実施をしていくことで、質の高い経験としてできるように繋がっていきます。 また、外部目線も入れることで、自分たちの支援を客観的に見ることができるようにします。
2	専門職(理学療法士・作業療法士)がいない。	理学療法士、作業療法士が在籍していません。 現在の利用者さんのこともこれからの利用者さんのことも含めて、専門職の確保が必要だと考えます。	来年度、新卒者・転職者問わずに募集を積極的に行っていきます。 外部委託で支援をしてくれる方も探していきます。
3	環境設定が足りていない。バリアフリー等も含む。	まだできたばかりの事業所で、環境設定が足りないところが多くあります。環境設定を充実することでより良い支援につながると考えられます。	環境設定を専門的な立場から見ているように従業員教育を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスひろがり

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 15名(兄弟児含む)

回収数 8

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2	体制がわからない	ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございません。今後の対策として、配置職員をHUG内で確認ができるようにします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1			トイレに行きたいと言っても連れて行ってくれない状況であったのであれば、その状況をお伝えするべきでありました。今後の対策として、こまめなトイレの声掛けなどをしていきたいと思えます。状況を保護者にも説明をしていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		お子さんのライフステージに合わせて、計画を作れるように努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		3		交流の機会を作れていません。今後、計画をしていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			1		個別での対応をさせていただいていますが、家族全体はまだ実施できておりません。今後の課題とさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				保護者の気持ちやお子さんの気持ちを共感できるように努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	3		保護者同士の交流会は、計画してはおりませんでしたが、保護者の意見も聞きながら検討をしていきたいと思えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1		1	各マニュアルを周知できるように、訓練の様子などをお伝えしていけるように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6				2	訓練を日々の活動内容にわかりやすく入れる。訓練の様子を報告できるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				1	安全に過ごすことができるように、支援者一同で計画・支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				1	大きな事故や怪我はありませんでした。小さなことでも、保護者と連携し状況をお伝えできるようにしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					ご意見がありませんでしたが、より良い支援のためにも支援者一同力を合わせて質を高めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	2				毎日楽しく通えています！ 子供達が、楽しく訓練ができる仕組みづくりを考えていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1				子供にはもちろんですが私もよく気がかけてくださりとても感謝しています 現在の状況に慢心せずに、質を高めていけるように努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひろがり				公表日	令和8年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		基準より、大きくとっています。また開所当初、事務室にしていた部屋を多目的室2として活用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		基準の職員と1～2名の職員を多めに配置しています。	保護者にどんな職員がいるかなど見える形にできていなかったため、来年度の課題として改善をしていきたいと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	小部屋を作るなど、子どもたちの特性に合わせて個別活動ができるように環境を作っています。	建物作りとして、バリアフリー化ができていません。状況を見ながら改善に努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9	温かみのある木材を使用した施設造りをしています。	まだできたばかりで改善が多いと考えています。ハード面の向上に努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		多目的室も最大3つにわけることが出来、静養室・多目的室2とべつの部屋も使用できるようにしています。	子どもたちが許可を取って部屋の使用ができるようにしていきたいと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎日、振り返りの時間を設けて支援の改善に努めています。	社内SNSを活用し、効率よく振り返りができるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	今回が初めてのアンケートです。改善が出来るようにしていきます。	アンケートを職員間で共有し、活かしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		意見を言う・聞く体制が出来ていると思えます。	風通しのいい会社作りをすることで、活発な意見が出るようになって考えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	実施していません	実施できるように努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部研修・内部研修問わずに開催・参加をしています。	近辺の研修だけではなく、県外や外国などの情報もしっかり取ってきたいと思います。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公表しています。	内容をもっとわかりやすくできるように努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		個別面談を通して、ニーズの聞き取りをしっかりと行っています。	アセスメントの質を向上させるためにも研修をしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援者全体で、計画作成にあたっています。	子どもの利益について常に探究をしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		常にみることが出来る仕組みを導入し、計画に沿った支援に努めています。	個別支援計画の表記されている意味をしっかりと職員間で落とし込んでいきたいと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9	標準化したツールを活用しています。	改善が必要な点もあり計画的に変更をしていこうと考えています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		設定しています。	設定していますが、まだわかりづらい点が多いと思いますので、改善をしていけるように努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		週に1回以上、全体での話し合いの場を作り計画を作成しています。	専門性を高めていきたいと思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		子どもたちのリクエストも聞きながら、活動プログラムを作っています。	行った活動を記録として残していきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	個別の時間・集団の時間と分けて考えて、計画をしています。	職員間で、情報共有ができていないこともあるのでわかりやすさを追求していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	支援前に必ず打ち合わせを行っています。ミスがあったときにはそこを注意するように心がけています。	ヒヤリハットを活用し、なぜ起こったのか、怒らないためにはどうしたらいいか？を分析していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	行っています。	共有だけでなく、改善をしていけるように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	記録の書き方も定期的に見直しをしています。	法人内の研修だけでなく、外部研修にも参加していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	半年に1回の見直しを行い、状況の変化に合わせて計画変更も行ってまいります。	保護者の希望も聞きながら、必要に応じた計画の見直しをしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	行っています。	目的を忘れずに努めていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	自己選択をする場面を作り、計画的に選択の練習を行っています。	子どもたちがわくわくしながら選択ができる活動を企画していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	参加しています。	役職関係なく、参加できるように努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	必要に応じて、医療、教育等の連携を行っています。	連携を活かすためにも、知識を付けていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	事業所の電話だけではなく、事業所携帯も用意し連絡を取りやすくしています。	トラブルがあった際には、続けて起こらないように改善策を立てています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	実施をしたことがありません。今後の課題として取り組みが出来るようにしていきます。	保育所等との連携を深められる仕組みを構築します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	該当者がいません。	該当者が出る前に、どのように情報を提供するかなどを確認します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	研修には参加していますが、必要に応じた助言をもらえていません。	次年度に、アドバイザーを依頼予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	実施できていません。	交流の機会を作るためにも企画をしたいと思えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	参加しております。	特定の役職者だけでなく、幅広い参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	システムも導入していますが、送迎の際に話をするように努めています。	伝える技術向上に努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	個別での実施をしていますが、全体での支援プログラムはできていません。	情報提供と共に、事業所でできることを構築していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	契約時に説明をしていますが、しっかり伝わっていないところがあります。改善に努めます。	管理者だけでなく、その他のスタッフも内容を熟知し、いつでも説明できるようにしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	お子さんが成長ができるように、最善の利益が得ることが出来るように意向確認をしています。	隠されたニーズや意向も汲み取れるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	同意を得ています。	計画の内容を深く説明ができるように努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	相談体制をとっています。	困りだけでなく、成長と一緒に確認ができるようにしていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	兄弟児が交流できる機会を2回企画しています。	企画回数が少ないと思うので、参加しやすい・参加しなくなる企画を考えていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	大きな苦情はありませんでしたが、意見があった際にはその状況の把握、改善をお伝えし対応をしています。	問い合わせ先がわかりやすいように周知とともに、一緒の方向性をむけるように職員一同で検討していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	SNSで情報発信をしています。	SNS更新をした際には、保護者に伝えていけるようにします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	大事な情報を預かって頂いていると自覚を持ち管理をしています。	個人情報を預かる責任を職員一同で持てるようにしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	特性に応じて、カードやツールを使って対応をしています。	現状に慢心せずに、新しい情報を常に入れて、より良い支援に繋げていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	地域の方と交流する機会を持っています。	地域住民を呼ぶことができる企画を作りたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	マニュアルを作成していますが、保護者に周知ができていない部分があります。改善に努めていきます。	マニュアルの改善とともに、周知をしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	訓練を実施していますが、簡易的な事しかできていません。	次年度は、子どもたちにもなげこの訓練をするかなど理解してもらい、より質の高い訓練になるように努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	アセスメントの際に行っています。	継続をして行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	対象者が居ません。	対象者がいた際には、対応ができるように努めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	安全計画をもとに、研修と日々の支援を行っています。	安全計画に、全スタッフが参加できるようにしていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	安全計画の周知がまだ足りていません。	ご家族にわかりやすく、安心できるようにするためにも、周知ができるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	ヒヤリハットを悪いものと考えずに、書いていける状況を作っています。	ヒヤリハットの質を上げ、同じようなことや災厄の事態を防げるような仕組みづくりを構築していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	研修を行っており、起こらないように風通しのいい会社作りに努めています。	虐待事例を人ごとと思わずに、研鑽に努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	対象者が居ません。	対象者はいませんが、どんな子が入ってもいいように体制を整えていきます。	